

第 5 回石巻市環境放射線対策本部会議 審議・報告・その他

提出日：平成 24 年 7 月 23 日

担当部・課：産業部水産課〔内線 3514〕

①件名	水産物の放射性物質簡易検査の体制強化について
②施策等を必要とする背景及び目的（理由）	<p>【背景】</p> <p>東京電力㈱福島第一原子力発電所事故により大量に放出された放射性物質による環境汚染は、事故発生から 1 年以上経過した現在も各方面に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>今年 4 月からの新基準値（放射性セシウム 100 ベクレル/k g）を超える水産物を市場に流通させないため、漁業団体、流通加工団体など宮城県の水産関係団体（23 団体）が一堂に会して、今年 3 月 23 日に「宮城県水産物放射能対策連絡会議」を設置し、検査体制の強化や検査結果を踏まえた対応を取り決めている。新基準値を超える放射性セシウムが検出され出荷制限指示を受けているなど、県内の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。</p> <p>【目的】</p> <p>現在、本市（石巻・牡鹿地区）で行っている水産物の放射性物質簡易検査について、市民に対して、安全で安心できる水産物をさらに安定的に供給するため、雄勝・北上地域におけるスクリーニング体制を整えたものである。</p>
③根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性	<p>【根拠法令】</p> <p>食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】</p>
④提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）	<p>H24.4.1 石巻売場へ新たに設置した簡易検査機器 3 台により、検査体制を拡充した。</p> <p>H24.4.16 牡鹿売場へ新たに設置した簡易検査機器 1 台により、検査を開始した。 （牡鹿総合支所内に設置）</p> <p>H24.5.1 石巻売場へ消費者庁から貸与された簡易検査器 1 を設置し、検査体制を拡充した。</p> <p>H24.7.23 雄勝・北上総合支所へ新たに設置した簡易検査器各 1 台により、検査を開始する予定。</p>
⑤主要内容	主に、出荷前の水産物及び水産加工品を対象として、放射性物質簡易検査を実施し、その結果を市のホームページ上で公表済み。（詳細については、別紙参照）
⑥実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）	<p>【市民への影響】</p> <p>現在、雄勝・北上地域におけるモニタリング体制を整えることにより、さらに、水産物に対する安心・安全性の確保が図られ、市民も安心して消費できるようになる。</p> <p>また、検査結果の公表により、水産物の風評被害の防止にも役立つものとなる。</p> <p>【市行財政の効果】</p> <p>機器の保証期間経過後のメンテナンス費用については、来年度予算要求する。</p> <p>なお、検査に要した費用については、東京電力㈱へ損害賠償を請求する。</p>
⑦他の自治体の政策との比較検討	県内で水産物放射性物質簡易検査を独自に実施している市町村 気仙沼市、南三陸町、女川町、塩釜市
⑧今後の予定及び施行予定年月日	検査開始予定日 平成 24 年 7 月 23 日
⑨その他	なし

新基準値に対応した水産物の放射性物質簡易検査体制

- 1 検査機器数：
 内訳
 8台
 県貸与機器(石巻)
 消費者庁機器(石巻)
 市導入分(石巻・牡鹿)
 ※市導入分(雄勝・北上)
 EMFジャパン製 EMF211型
 米国CAPINTEC社製 CAPTUS-3000A
 米国CAPINTEC社製 CAPTUS-3000W
 MIRION SPIR-Quanta
 (水産庁補助事業により導入)
 (水産庁補助事業により導入)

- 2 設置場所
 石巻売場
 牡鹿売場(牡鹿総合支所内に設置)
 ※雄勝総合支所
 ※北上総合支所
 5台
 1台
 1台
 1台

3 検査体制

検査時間	検査日	1日当り検査能力	検査人員	検査対象
4:00~16:00	市場開場日	35検体	4名	市場に水揚げされた水産物及び買付けられた買受人協同組合員が持込んだもの。
9:00~16:00	月～金曜日	7検体	1名	水産物等。

※1.石巻売場については、震災等緊急雇用対策事業を活用し、超低温冷蔵施設運営事業の1業務として事業展開している。

※2.牡鹿売場(牡鹿総合支所)については、市の臨時職員を採用して検査を実施している。

- 4 新基準値
 水産物
 放射性セシウム134、137合計
 50ベクレル超 精密検査の実施(産業技術総合センター、原子力センターまたは、海洋生物環境研究所へ依頼)
 100ベクレル超 出荷制限措置(県または国の措置)

5 検査結果
 4～6月実績

検査場所	検査検体数
市場	863 検体
加工場	603 検体
合計	1,466 検体

※1.466検体中、精密検査の基準となるセシウム50ベクレルを超過する水産物1検体が検出され、精密検査を実施した結果57Bq/kgで基準値未満であった。
 (出荷自粛中の魚種のサンプル検査及び県外から導入した加工原料を除く。)
 ※精密検査の結果、50～99ベクレルについては、県水産物放射能対策連絡会議により、過去の精密検査結果や隣県の状況等を考慮し、出荷を自粛するかどうかを検討する。

6 今後の実施予定
 実施予定:7月23日

設置場所	検査時間	検査日	1日当り検査能力	検査人員	検査対象
雄勝総合支所	9:00~16:00	月～金曜日	7検体	1名	水産物等。
北上総合支所	9:00~16:00	月～金曜日	7検体	1名	水産物等。

- 7 検査結果の公表
 石巻市におけるNa I シンチレーション検出器の運用方針により(県貸与機器の運用方針と同様の扱い)、市のホームページ上で公表している。